

職員在任中と退職後の発注割合

年度	発注件数	問題業者の受注	割合	問題職員の役職
2010	429	35件	8%	課長
2011	412	36件	9%	課長
2012	382	27件	7%	課長
2013	479	11件	2%	部長
2014	467	14件	3%	部長
2015	479	0件	0%	退職

不正防止策で官業癒着は解消されるのか？  
元市幹部職員の「たかひ」事件を質す

元市職員が贈賄事件で逮捕されました。決裁権のある課長時代に特定業者に発注し、車の購入費などを出させていた疑いです。

伊勢崎市は、入札では予定価格を事前公表しています。厳密な積算をしなくても落札できますし、予定価格が分かっているのに、やろうとすれば談合も簡単にできる欠点があります。

それでも、価格を職員から聞き出す不正を防止するため、事前公

表は続けるとしています。

そこまでしているのに、入札しない小規模工事の発注で、いろいろを受けるような幹部職員が出たのでは、市内部の体質が問われることとなります。

係から上がったものを課長がチェックし決済するという機能が働かなかつたので、これからは月に1度副部長が、3ヶ月に1度部長が、特定業者に発注が偏っていないかチェックするという改善策を打ち出しました。これで、問題が解決するのでしょうか？

発注の何%以上が同一業者だったら偏っていると判断するか質問しましたが、「総合的に判断する」というあいまいな答弁です。発注業者にたかひの不正職員が、チェックする立場の部長に抜擢され、関連業界団体に天下ついていた体質こそが、問題です。

ただし、この事件があっても、緊急に対応が必要な時、職員が委縮して発注対応が遅れることが無いように、とも要望しました。

エピソード 4

議会初日に、在職25年で市議会から「顕彰状」をいただきました。配偶者が議場に招かれることになり、「着物でなくてもいいですよ」との配慮の言葉を妻は逆に「着物がいいですよ」と受け取り、2日前に慌てて貸衣装屋さんへ駆け込みました。

袖のサイズが合うのは2着だけでしたが、知り合いの紹介で30%オフになり何とか間に合いました。

恥ずかしながら繭の出荷量伊勢崎一にもなった私は、養蚕の収入では妻に着物1枚も買うことができなかった。(その気がなかったくせにと言われているが…)

顕彰として、議場入り口廊下にタテ82cm×横70cmの大きな肖像画掲示の話を頂きました。名誉なことですが、「今日まで続けられたのは多くの市民の皆さんのおかげであり、貴重な税金の無駄遣いはできない。」と、これは丁重にお断りしました。

(北)

無料生活法律相談会

■弁護士と市議会議員が相談に応じます

■毎月第四月曜日午後6時から

■お申し込みは日本共産党市議



北島 元雄

24-8410  
090-4065-2120  
波志江町3626



長谷田 公子

25-1130  
070-5564-6271  
八幡町44